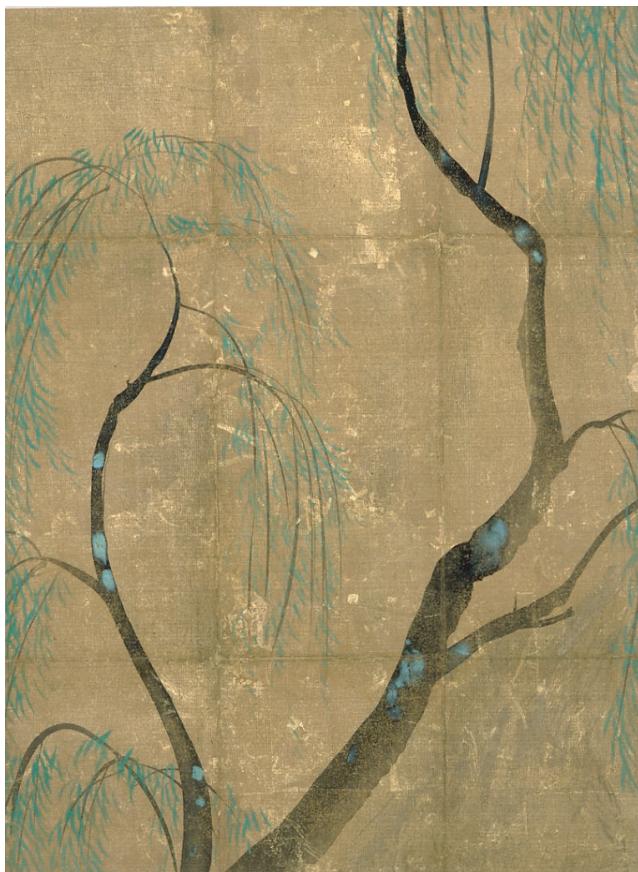


まちあいがけ  
特別展 待合掛け —茶会への誘い 春夏秋冬—

特別展示 重要文化財 豊公吉野花見図屏風

平成22年4月17日(土)~5月30日(日)細見美術館



柳図香包 尾形光琳



白椿に楽茶碗花鉄図 鈴木其一筆



朝顔図 俵屋宗理筆

待合とは、茶道用語で、いわゆるお茶会の前にお客様が集まる、控え室のような場所をいいます。この待合に掛けられている作品は、「待合掛け」と呼ばれ、茶会の趣向を暗示する作品が選ばれます。参加者は茶会がはじまるまでのひととき、待合掛けを愉しみながら、その日のテーマに思いを馳せるのです。本展では、茶事茶会へ誘う春夏秋冬の「待合掛け」に焦点を当てると共に、数寄者 古香庵が愉しんだ茶道組や春の茶の湯の風景も描かれた重要文化財 豊公吉野花見図屏風を併せて紹介します。

主催: 細見美術館

会期: 平成22年4月17日(土)~5月30日(日)

休館日: 月曜日(但し、5月3日(月・祝)は開館)・5月6日(木)

開館時間: 午前10時~午後6時(入館は5時30分まで)

入館料: 一般1000円(800円) 学生800円(600円)

※( )内は20名以上の団体料金

会場: 細見美術館 京都市左京区岡崎最勝寺町6-3

Tel / 075-752-5555

お問合せ先: 広報担当 三宅 由紀

Tel / 075-752-5555 Fax / 075-752-5955

E-mail / kouhou@emuseum.or.jp

<http://www.emuseum.or.jp>



重要文化財 豊公吉野花見図屏風  
左隻 部分

HOSOMI MUSEUM 木